

きんこうわん

kinkowan

発行 鹿児島県立錦江湾高等学校PTA

責任者 PTA会長 溝口昭一

印刷 (株)朝日印刷

いざ平川路へ、27km遠行



とつても感動した 二十七キロ遠行

二年保護者 安藤 泰子

生徒の皆さん、先生方、保護者の皆さん、本当におつかれさまでした。当日は好天にも恵まれ風は少し冷たかったけれども絶好の遠行日和となりました。車で移動しながら山の中、畑の中を通過した空気もとても良くほとんど車も通らず道路を下ったり登ったりして給水ポイントに辿り着きました。

私も今回初めて参加させていただきました。とても楽しかったと同じ給水ポイントの保護者の人達と何度も話していました。最初に女子生徒の姿が見えた時は感動のあまり手の平が痛くなるほど手をなたいていました。保護者の人達が麦茶の接待を手

際良くしました。通過する生徒に大きな声で給水した方がいいよと声かけをしました。梅干はとても好評ですぐになくなりあとは塩をなめてもらいました。給水ポイントに着いた生徒は様々で、麦茶を飲むですぐに走り出す生徒、麦茶のおかわりをする生徒、皆とおしゃべりを楽しむ生徒、リュックサックからおにぎりやバナナを出して食べる生徒、何人かですわり込んでいる生徒、来るなり足がつつたと訴えて寝ころぶ生徒、足に豆ができてカットパンをはってもらって足をひきずりながらまた走って行く生徒、すれ違いに手と手をポンと合わせてお互い頑張ろうと言っているような生徒の姿を見ました。

二十七キロ遠行を 体験して

二年保護者 厚地 明人

今回は、初めて二十七キロ遠行を体験させていただきました。私も錦江湾高校を卒業しており、自然に保護者の立場というよりは卒業生という立場で見ていた気がします。私の頃はこのような行事はなく今の生徒達を少し羨ましく思いました。生徒達がスタートして私も給水ポイントに向かうと、すぐに



第一陣が到着してきました。息を整えながら水分補給し、タイムを気にしながら爽やかに走り去っていく彼らを見てみると、自然に手を叩いて応援してしまいました。疲れているが気持ちよさそうな顔や、自分のペースを大切にしている真剣な顔、友達と楽しそうに走る顔などたくさん見えました。普段とは違う素の彼らを見ていると昔の自分達を見ていたようでとても懐かしく思いました。いつの時代にもこんな素晴らしいものがあるのだなと感じました。

方と保護者で会合の場をもち軽トラックの手配、タンクやキーパー、ポットの消毒をしたり、持寄品を決めたりして大変なこともありましたが、今振り返ると楽しい日々でした。三年生は最後の遠行となり汗もたつぷりかいて、苦しかったけれどもさすがにいい顔をしていたと思います。一年生は初めてで不安もあったと思いますが、皆頑張りました。全校生徒が同じゴールを目指すことで友情がかなり深まったことと思います。途中で麦茶がなくなつてあせりましたが、先生方に工面していただき無事給水できました。生徒の皆さん楽しい一日を過ごさせていただきありがとうございます。ありがとうございました。

折り返した生徒全員を見送りゴール地点に向かうといつもよりもさらに険しく見える錦江湾坂に息を切らしながら進む生徒達がありました。そんな生徒達を、一生懸命応援で後押しする先生方はとても印象深

た。体育祭や文化祭とは違ってただ走るだけできつそうに敬遠されがちですが、私はこの行事が一番大事だと思います。そして、本当に生徒の皆さんお疲れ様でした。すばらしい感動をありがとうございました。来年はもっと多くの方の拍手で迎えてあげられればと思います。





宮崎公立大学にて

***** 研修旅行日程 *****

7:10 鹿児島中央駅集合(西口広場)
7:20 鹿児島中央駅出発

10:20~12:00 宮崎公立大学

12:00~14:00 移動・昼食

14:00~16:00 宮崎大学(木花キャンパス)

18:50 鹿児島中央駅(解散)

興味津々、おかんたちの

PTA 研修旅行

宮崎公立大学にて
宮崎大学は、卒業生の品質保証、適する人材育成に力を入れるために二十二年より教育文化学部、医学部、工学部、農学部、工学部を編成しているそうです。学校の特徴として農学部附属博物館や太陽光発電システムが印象的でした。いずれも興味深いものがありました。

今年度入学生生、千二百七十
四名中、鹿児島出身者は百一名です。就職先は公務員、食品関係、農協が多いとのことでした。帰路、宮崎の自然豊かでゆつたりとした風景をあとに、ふと娘が一学期の頃、宮崎がいいと言っていたことがあつたような？三年前息子の受験の時も一瞬話題になったような？と県内志向の私は全く子どもの声に耳を傾けなかったことを思い出しました。既に我が娘は三年生で進路も決まったあつたので、もう少し早くこのような機会に出会っていたら違った選択肢があつたかもしれせん。

一年 参加者
紅葉が美しい季節に、友達とストレス解消の小旅行気分が参加しました。前日の一夢の実現に向けて頑張れ。の講演で、大学に興味が増えました。宮崎公立大学と宮崎大学の見学です。バスの中はおやつを食べ楽しい井戸端会議。南国の光景が目に入ったら、新しい建物の宮崎公立大学に到着しました。人文学部・国際文化学科の大学とも知らない訪問に反省しました。

学校説明と湾高卒の女子が人生の目標に向かっている体験発表をしました。英語教師をめざして志望した大学受験に失敗してこの大学に入学し、再び目標に向けて着実に歩んでいる姿や、先生との交流を密に、少人数教育で指導を受けていること、親元を離れて学生生活をエンジョイしている話に感動しました。充実した専門書が揃う広い図書館や会話のほずむ食堂等の施設

とや良い思い出を残せたことに感謝します。研修旅行は、一度は参加してみる価値があると思います。是非、一、二年生の保護者の皆様にはお勧めしたいと思えました。

さて、今回見学させて頂いた宮崎公立大学は人文学部国際文化学科に学生が九百十三名で、うち鹿児島出身者が十六%を占めています。生きる力、人間性の育成、国際的に通用する教養人の資質をバランス良く育むための教育に努めており、大学の規模が小さい為、教員が一人ひとりの顔を知り状況を把握していることから就職率が昨年全国91.8%、九州88.1%を上回り93.2%あつたことは魅力です。何より本校卒業生が体験発表で「最初は不安だったけれども今は県外に出て良かった。実家ではわからない親の有難さがあった。一年では必修科目が多いがやりがいがあり自分のためになる。好きな分野を勉強しながらボランティア、アルバイトにも励んでいる。夢は、英語の先生。」と語る口調は頼もしく大変印象的でした。

一年 参加者
紅葉が美しい季節に、友達とストレス解消の小旅行気分が参加しました。前日の一夢の実現に向けて頑張れ。の講演で、大学に興味が増えました。宮崎公立大学と宮崎大学の見学です。バスの中はおやつを食べ楽しい井戸端会議。南国の光景が目に入ったら、新しい建物の宮崎公立大学に到着しました。人文学部・国際文化学科の大学とも知らない訪問に反省しました。

もあり、すばらしい大学でした。昼食は宮崎名物の鳥料理御膳を頂き満足満足で宮崎大学へ向かいました。

DVDを見ながら、工学部、農学部の説明があり、聞き入りました。そして広大な敷地のキャンパスを見学。

驚いたのは、国内最大の出力を誇る、太陽光発電システム、パネルが太陽を追尾する様に、感激しました。子供達の研究で、近い将来、エコな生活が出来るのだと思うと楽しみです。

もう一度青春出来るなら、こんなキャンパスを駆け巡り、専門分野で学びたいな！しかし我が子の姿と重ねると、すくんと現実にもどる母でした。

こんな大変な世の中でも未来に向かって、学べる場所は多し、頑張つてほしいものです。有意義な一日をありがとうございました。

PTA総会の時にもう少し時間をとって研修旅行について説明をして下さると参加者が増えるのではないのでしょうか。研修旅行の時期をもう少し早めにするかと思えます。

日程が早めにはわかれれば予定も立てやすいので学校から保護者への案内プリントをもう少し早めに出してほしいです。

集合場所が学校であれば、車で移動し駐車場も確保されるのでもう少し参加者が増えるのでは？

当日の緊急連絡先がわからないとの声もありましたので、数日前に参加者名簿と研修部長さんの連絡先のプリントを配布して下さいと助かります。

集合時間を決めるのにJRの中央駅着の時間に合わせて考えてもらえるとありがたいです。

前年度にアンケートを取つてどういふ大学を視察したいのか調べてみてほしいのでは？それぞれの大学の特長や授業の内容が聞けて勉強になりました。有意義で楽しい研修旅行になりました。

皆さんは学校の裏山に見晴らしが良い所があるのをご存じでしょうか？部会の前に七名で軽い気持ちで登ることにしました。思った以上に急な坂や高さの高い階段を登り、眼前に現れた錦江湾や周辺のすばらしい眺めには息をのむ程でした。別ルートで下りたのですが、こちらの道はもっと急で手摺りも少なく、ころがり落ちるのではと思いきや、皆さんも暖かく天気の良い日にスニーカーを履いて登つてみられてはいかがですか？

PTA研修旅行のアンケート

宮崎公立大学では、本校卒業生の話が聞けてよかったです。地元の鹿児島大学や鹿児島国際大学をじっくりと視察してみるのがいいのではないのでしょうか。

PTA総会の時にもう少し時間をとって研修旅行について説明をして下さると参加者が増えるのではないのでしょうか。研修旅行の時期をもう少し早めにするかと思えます。

日程が早めにはわかれれば予定も立てやすいので学校から保護者への案内プリントをもう少し早めに出してほしいです。

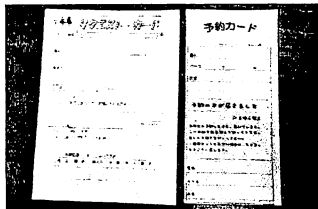
集合場所が学校であれば、車で移動し駐車場も確保されるのでもう少し参加者が増えるのでは？

当日の緊急連絡先がわからないとの声もありましたので、数日前に参加者名簿と研修部長さんの連絡先のプリントを配布して下さいと助かります。



おがん突撃シリーズ パート⑦

～まほら館(図書館)を訪ねて～



リクエストカードと予約カード



11月9日の校内一斉読書会の日に読書時間のアンケートを実施しました。家庭でじっくりと読書する、という生徒が多いようです。親子で同じ本を読んで感想を語り合ったりできるのも、高校生になったからできる家庭での喜びではないでしょうか。活字離れが叫ばれていますが、ぜひ読書の輪を広げてください。リニューアルしたまほら館を多くの生徒に利用してもらいたいです。

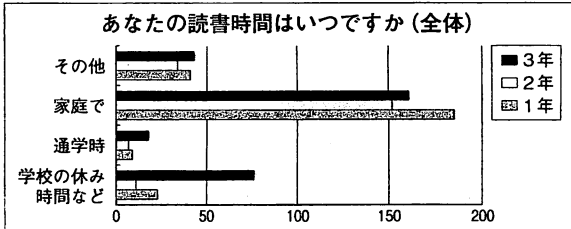


林 美智子先生

Q1 なぜ司書という仕事にこまましたか？
A 昔から本に囲まれている空間、本と一緒に過ごすことが大好きでした。大学の時、軽い気持ちで資格を取り、採用試験を受けてみたら運良く採用された。この仕事にこまました。

Q2 この仕事について嬉しいことは何ですか？
A 最初に新刊が読めることです。15才、18才の生徒達と接し気持ちいいのも20才です。また、オリジナルの図書館を作ることもとても楽しいです。

Q3 工夫していることはありますか？
A 手作りの物や子どもが使わなくなったぬいぐるみなどを置いていたりして、生徒にリラックスして図書館を利用してもらうために、生活感を与えています。家庭的で温かい場所であり、居心地の良い場所であってほしい

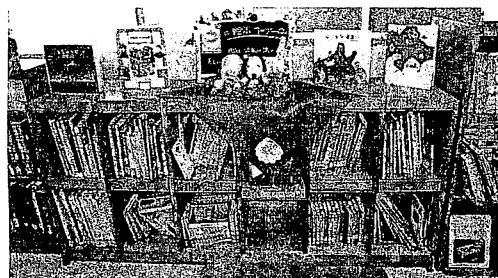


Q4 人気のジャンルは何ですか？
A 生徒に人気があるのは、TVや映画になった本やライトノベルです。三年生向けの小論文対策などの本も、必要がある時期には皆さん貸りに来ています。小論文に必要な本は、コーナーを設け、貸出ししやすいようにしています。

Q5 新刊の選び方は、どのようにされていますか？
A リクエストカードも作っています。カードはカウンターに置いてあり、生徒・先生方の読みたい本を入れていきたいと考えています。図書館はサービス業のようなもので、来館者のニーズに答えてあげ、話題になっているベストセラーも取り入れていきます。また予約カードもあります。利用者へ読みたい本が早く手に届くようにしています。

Q6 生徒に望むことは何かありますか？
A 高校生活の三年間、多くの本と対話し、視野を世界に向けてほしいです。生徒一人一人の夢を実現するためにまほら館が少しでも役に立てれば嬉しい

とっています。また、カウンターや本棚はオリジナルでリフォームし、高さも低くして全体が見わたせるように仕上げました。サインボードも作成し探している本が見つかりやすいようにしています。本は表紙が見えるようにディスプレイを心がけています。時代と共に図書館の有様は違うので、いろいろな図書館を見学して常に勉強をしています。



落ち着けるスペースです

Q7 保護者に対して何か要望はありますか？
A 保護者は、生徒のカードを借りて貸出しもできます。まほら館だよりに、新刊情報を紹介したり、三社の新聞社説の見出し一覧を月一回発行したりして生徒に渡してあります。保護者の方も時間があるときには、目を通していただき、親子で本を通じて共通の話題がきたら楽しくなると思います。コミュニケーションの一つにしても、良いかもしれません。

Q8 本好きな子どもになるには、どうしたら良いですか？
A 親が夢中に読書する姿を子どもに見せることは、大変効果があると思います。読書は、本来楽しいものです。本を読むと根気がつき心の中が成長します。親子で本を読む時間をつくってみてはいかがでしょうか。



修学旅行

修学旅行を終えて

二年五組担任 東 寛久

1月18日～21日の3泊4日の日程で第2学年の修学旅行(東京ディズニーランド、長野スキー研修)が実施された。体調を崩す生徒が若干名いたが、大きな怪我人も出さず無事に終了した。特に長野スキー研修では、インストラクターの指導を素直に受け入れ、颯爽とゲレンデを滑る姿や飯山民宿の方々の別れを惜しむ姿に強い感動を覚えた。

事後アンケートでは、約75%の生徒が今後の修学旅行先として東京スキー研修が良いと回答している。最後に生徒の感想文の一節を紹介したい。「今回の修学旅行で私は学んだことがたくさんありました。両親のおかげで旅行に行くことができたので、両親には本当に感謝しています。」

各専門部一年間の活動報告&感想

研修部

副部長 税所 英子
去る十一月十七日、PTA研修旅行に参加しました。

先生方を含め、計二十三名で宮崎公立大学と宮崎大学へ行ってきました。大学生活を経験した事のない私は、とても興味深く楽しみな一日の始まりでした。

保健体育部

部長 安藤 泰子

保健体育部は学校保健委員会、PTA評議員会、鹿児島高等学校PTA研修会、市PTA連合保健担当者研修会等に参加したり、二十七km遠行に参加したりしました。学校保健委員会では学校の飲み水の安全性や、水道にせつけんを置いてほしい、裏山は災害時は大丈夫なのか等特色々な意見が出ました。高等学校PTA研修会は「夢の実現に向けて主体的に進路選択させるために保護者や教師はどう連携すればよいか」をテーマに開催されました。体験発表では小さい時から動物好きで獣医を目指していても、あきらめたらそこで終ってしまうが、努力して夢かなう人はとてもすばらしいことだと思いました。もう一人は進路について悩んでいるとのこととこれが現実だと思いました。

悩んで悩んでその中から見えてくるものがあるのではないかと思います。PTA評議員会では各専門部から反省として出されたのが、どの部も出席者はいつも同じ人で一度も出席していない人もいるとのことでした。市PTA連合保健部担当者研修会では「子宮頸がんワクチンの普及とその重要性について」の講話が聞けました。中学一年から高校一年までが対象で他は費用が自費とのことと会場からため息がもれました。

生徒指導部

部長 池崎みゆき

一、夏休みと冬休みに鹿児島市校外生活指導連絡会合同補導を小・中・高のPTAでダイエー、天文館谷山、与次郎ヶ浜で行ないました。

母の会事業部

副部長 上野小百合

母の会事業部の一年間の主な活動は、六月に行なわれた、錦江祭でのバザー、七月に行なわれた錦江園訪問でした。

バザーにつきましては皆様方からの提供品のご協力を頂き、ありがとうございました。

残念ながら当日雨の為、出足が悪く、例年より品物が残ってしまいました。

それで学校の協力を得て、体育祭の日にも、残りの品物の販売をさせて頂きました。

売上にご協力下さった皆様方には本当に感謝致しております。そして、七月に行なった、錦江園訪問。

おはら節等の歌を唄い、青い山脈の歌に合わせて踊りを披露

した。十一月に県生活指導研究協議会が総合教育センターでありました。今年は担当校だったの部員は早朝から開催の手伝いで忙しいでした。

講演は、全国生涯学習町作り協会理事の矢野大和氏が講師でした。笑って元気になる楽しい講演で場内は笑いが絶えませんでした。たくさん元気をもらいました。CDやたくさん著書もありました。

霧島高校では、いじめや不登校の対応について、いろいろな機関と連携を取り改善されたそうです。垂水高校では、思いやりの心を育てるためには基本的生活習慣が大事だと再確認されたそうです。

一年間いろいろな経験をさせていいただき勉強になりました。ありがとうございました。

四、十一月に県生活指導研究協議会が総合教育センターでありました。今年は担当校だったの部員は早朝から開催の手伝いで忙しいでした。

講演は、全国生涯学習町作り協会理事の矢野大和氏が講師でした。笑って元気になる楽しい講演で場内は笑いが絶えませんでした。たくさん元気をもらいました。CDやたくさん著書もありました。

霧島高校では、いじめや不登校の対応について、いろいろな機関と連携を取り改善されたそうです。垂水高校では、思いやりの心を育てるためには基本的生活習慣が大事だと再確認されたそうです。

陸上競技部

部活動紹介

陸上競技部は、顧問の木之下先生、副顧問の勝田先生のご指導の下、1年生3名、2年生9名の計12名で活動しています。皆、やる気があり、あいさつのできる部員です。現在はトラックシーズンを目前に控え、



秋の県高校駅伝大会にて(右)

坂ダッシュ、サーキットトレーニング等を中心とした冬季練習を行っています。きつい冬季トレーニングの蓄積がシーズンでの結果につながってくるので、皆で叱咤激励しながら頑張っています。これからの陸上部は、練習の雰囲気や質をさらに高め、一人一人が結果を残せるようにしていきたいです。また、錦江湾高校の模範となれるように部活動を通して自分を磨き進歩していけるよう頑張りたいです。

した後、提供品のタオルと石鹸を皆様にお渡ししました。園の皆様にはとても喜んで頂けたと思います。次に、今年度から二十七キロ遠行に協力という形で参加致しました。

生徒達が皆、頑張って完走、完歩する姿を見ることができてとても楽しく参加させて頂きました。

この一年が始まる前は、いろいろと不安もありましたが、無事に楽しく活動できたと思います。

あき

不安な気持ちで始まった新聞作りも、部員一人ひとりの頑張り

と協力で、最後のPTA新聞が発行出来ました。発行にあたりお忙しい中大切な時間を割いてご協力くださった方々に心から感謝申し上げます。